

昨年度の成果と課題

取り組みにおける成果と課題

- 指導計画の見直しを図り、これまでの異学年交流に加えて各学年の学習内容を充実させることができた。
- 1年生は特に学校探検、秋の季節遊びを充実させることができた。2年生は町探検、生き物を育てる学習を特に充実させることができた。
- 異学年交流は、1・2年生での昔遊びの交流を行うことができた。また昔遊びを通して、地域の方との交流をすることができた。また、1年生は保育園や幼稚園の園児と交流を広げた。
- 校内研究を通して教員が生活科の授業のポイントを学ぶことができた。児童の思いや願いに沿った活動にすること、児童の活動がより活発になり、気付きの質が高まっていくような場の設定をしていくことを大切に授業改善に取り組むことができた。
- ・児童の気付きの質を高めていく指導をさらに研究し、体験活動から多くの学びを得ることのできる授業づくりを工夫すること（活動の振り返りや表現のさせ方などの工夫）が課題である。

平成28年度の実態の分析

結果の分析	<p>【関】さまざまな活動に意欲的に取り組んでいる。異学年や地域の方、保育園・幼稚園児との交流もすすんで行っている。また、活動の中で教え合いや学び合いをすることができている。</p> <p>【思・表】ワークシートに記入したり、「じまん大会」のように表現への意欲が高まるような工夫を教師がすることで、気付きや発見をすすんで表現しようとする姿勢が見られるようになった。言葉や文で活動の振り返りを行うことができるようになってきている。</p> <p>【気付き】ほとんどの児童が、対象への一つ一つの気付きがとても多く、つぶやいたり表現したりしている。その気付きを関連付けられた気付きや、まとまりのある気付きになるように指導の改善を図る必要がある。</p>
-------	---

調査結果に基づいた授業改善のポイント及び改善策

- 関心・意欲を継続するために
 - ・ 教室で生き物を飼う、季節を感じる実物を紹介する、教室掲示をするなど、植物や生き物などが自然と目に入るような環境作りをし、単元の学習をする間に加え、日常的に意欲関心が高まるようにする。
 - ・ 友達や地域の方、高学年の児童や教員など様々な人々との関わりを大切に活動を行う。
- 気付いたことや思ったことの表現を高めるために
 - ・ 作品を掲示したり発表の場を設けたりすることで、気付きを共有し、自分の表現に生かす。また、互いに相手のよさを認められるようにする。
 - ・ 日常的に表現する場面を組み入れる。文章や絵だけでなく、動作化や伝え合いなどの表現活動を繰り返す。
 - ・ 自然と表現への意欲が高まるような場の設定やツールを工夫・開発する。
- 気付きを深めるために
 - ※一人一人の活動を充実させ、それを振り返り表現させることで体験からの気付きを引き出していく。また、自分で選択する活動を徐々に取り入れることで、思考・判断力の向上を図る。
 - (例：観察カードの種類を選ぶ、調べたい場所を決めて町探検を行う、植物の育ち具合によって支柱をたてるか決める等)

1年生

- ・ 2年生から教わるだけでなく自分たちで学校探検をする。
- ・ 1学級につき一匹ずつ小動物を飼い、生き物に親しませる。
- ・ どんぐりや季節ごとの遊びを通して自然に十分に触れさせる。等

2年生

- ・ 各自が育てたい野菜を決め、世話をする。
- ・ 調べたい事柄や行きたい場所を決めて班ごとで町探検に出かける。
- ・ おもちゃに使えるような材料を探して、試しながら遊ぶ。等

※体験活動中・体験活動後の振り返りと気付きの表現を繰り返し行い、体験からの学びを大切にする。

その他、引き続き地域の方や異学年との交流を充実させる。

(2年生は、地域のお年寄りに昔からの伝承遊びを教わる。1年生は、幼稚園や保育園児を学校に招き、交流する。)